

## ◎HNCM だより

### ◆「春の花が咲き競う横山岳へ、初めての登頂！～大展望の双耳峰と幻想的なブナ林～」

一王山支部 HNCM 中空慧玲

日時：2022年5月11日（水）

山域：滋賀湖北 伊吹山地 横山岳 1132m

天候：くもり

メンバー：吉野会長、中空

会報に掲載する季節花写真の撮影にとっても良い山がある！と吉野会長に教えてもらった横山岳。名前知らなかったのですが、調べると**関西花の山**で有名な山でした。

春迎えてご案内お願いすると「任せとけ！」「いつ行きましょ？」「まだ先、もう少し待って！」と。4/17に登った方のレポート読めば山頂にまだ残雪、カタクリなどフラワーロードのお写真♪もう近いかなーと待ちこがれていました。ところが吉野会長は5月初めにヒヨコ総会のイベント、準備で大忙し！それどころではありません。5/5のレポート読めばもうかなり開花。えっ？花ピークがすぎてしまいそう！慌てて天気確認・水曜雨、木曜晴れマーク。次にスケジュール確認・火曜はゴルフの先約、水曜は岳連の森整備。タイトだけれど仕方ないので強引に木曜日に山行計画入れましょうと。

ところが火曜日の夜、横山岳のてんくら（てんきとくらす）予報は変わってしまいます、水曜が晴れA、木曜は雨C判定。神戸は水曜日朝から雨予報、なのに山は晴れるの？！結局水曜夜中から雨となり、朝に森整備は中止となる。

「雨ですが行きますか？」と会長からメール。てんくら降水データを信じれば降っても霧雨ぐらいかなと判断、出かけることを決めた。ゴルフの翌日に遠方登山、しかもドライバーは私・・・「大丈夫なのか？私・・・」。問いかけて行くしかない！慌ててザック準備にとりかかると。

**結果は大正解！**雨の神戸出発、京都過ぎて滋賀に入ったあたりから路面は乾き雨も上がった。空は曇って暑すぎず、急登の汗も気にならない

爽やかな涼しさで山の神様の歓迎を感じました。

### うっかり・・・おっちょこちょい～

インター降りてコンビニ寄って昼食買おうと考えていた私でした・・・が、ナビ設定に気をとられ？そのまま昼食買いそびれ登山口に着くという大ボケを。やっちゃいましたあー！（笑）会長の昼食おにぎり一個恵んでもらう？いや、横取った私です。

### ■アクセス&コースタイム

6:00 六甲出発。車で新名神、名神、北陸道経由木之本ICから30分ほどで杉野地区（整備された駐車場に車は3台、少なかった）



10:00 駐車場（標高300m）出発～コエチ谷登山口から登り始め時計回り

10:45 コエチ谷分岐、乗越峠、途中行動食

13:10 登頂、13:50 東峰へ



15:45 東尾根登山口、16:10 駐車場到着約9km。20000歩。



### ■花畑・フラワーロード

歩き始めた林道でいきなり可愛

いタニウツギ、自生する花の種類の多さと花色の鮮やかさに驚き癒されました。急斜面の登り



も、次々と美しく可憐

な春の花が登場します。イチリンソウ、ヒトリシズカ、大きく立派な山芍薬、ツリ



ガネツツジ、ハコベ、コブシ、イワナシ春の花がいっぱい！写真やビデオ撮りなが



ら次第に遅れる私に、姿見えなくなると先を登る吉野会長から「大丈夫かあ？」の声がけ響き、「よぉー咲いとる！」「面白い花咲いとったゾ！」と小学生のように嬉しくはしゃぐお声も何度も聞きました。新緑の隙間から現れるユキグニミツバツツジの鮮やかな色は艶やかでよく映えてました



### ■眺望良し！天空の散歩道

数多くの山を知る吉野会長がイチ押しされる訳です！山深く、花が咲き、展望良し（琵琶湖や余呉湖、福井の山々や南は伊吹山までも見渡せる）、



魅力いっぱいの稜線は別世界！ルンルン歩きました。



横山岳は双耳峰  
登山道から外れた場所にまだ残雪も（上）

### ■グリーンシャワー・広大なブナ樹林帯



登山登山口の掲示板に「近江最大のブナ樹林帯」と記されていましたが、



東峰越えた  
先は深いブナの森。

下山は美しい緑のシャワーを延々と浴びて落ち葉がフカフカ～な登山道。

ゆるい傾斜は歩きやすく足元にはピンクのトクワカソウ（イワウチワ）がびっしり咲き競い、あちらにこちらに・・・

二人ともテンション上がりっぱなしでした！  
結局、この日すれ違ったのは一人。登山口に下山して女性グループに



会い



ましたが、山はほぼ貸切！贅沢な山行でした。

た。

出発間際の予定変更でしたが、本当によかったと大満足の帰路、助手席の会長は1本の缶ビールにほろ酔い、首を垂れて爆睡。3時起きですからね。時折目覚めて「大丈夫か？」と声がけては再び瞼閉じる繰り返し、睡魔の中に運転ご心配くださる姿が微笑ましかったです。

.....

### 【追憶】

かれこれ30年以上前だったように記憶している初めて登った「横山岳」。誰について行ったのか、どんなコースだったのか、只「シンドイ山」のイメージだけが残っていた山・・・。

### ■トクワカソウの名前由来にあやかる

連日の長距離運転の緊張からか体疲れ果てても頭は興奮さめやらず・・・下山の夜も翌日も頭は終始休まらず。私の困ったときの救世主・酸素カプセルに入りいき、ようやく熟睡！回復！ヤレヤレ、



私も歳には叶わなくなってきたなと実感。

トクワカソウは葉が常緑、「特若」=いつまでも若々しいことから名前ついたと知り、後日フットネイルのカラーを「トクワカ色」でオーダー。ご利益ありますように♡

### 生命力みなぎる横山岳の自然から パワーチャージ！元気もらいました♡



吉野会長のご案内に心より感謝いたします！



その後、古書店でふと目に留まった古い山案内の本で目にした横山岳が「花の山」とあったことで記憶が蘇り、18 キップやマイカーを利用し、グループで、又、単独で数回登ってきた。

この山が気に入ったもう一つの理由は、その後

出版された「近江百山/近江百山之会・著」にあったこの会の近江郷土愛であり、会員の絆の深さに感動。そして、最初に登った山が「横山岳」であるという一文からであった・・・。



当初は白谷の沢を渡りながら真北に辿るコースで、経の滝や五銚子の滝といった滝を巻きながら急登を攀じるように登っていたが、その後、本文に案内されているように、東峰（1132M）を經由し、延々と続くブナの森から網谷林道へ下るコースが開発されてからは、更に楽しい花の山になっている・・・。

4月10日（日）に15名の皆さんをお連れした「カタクリ咲く文殊山」でもお分かりのように長い冬から雪が解け、待ちわびるように咲き誇る花々の饗宴は、近江から北陸路の山々が最高である・・・。雨予報で中止となった森づくり行事の日、強行？山歩（さんぽ？）であった。